

# 韓国における才能教育担当教員の 資質能力開発体制に関する研究

国際言語文化学部 国際日本文化学科

准教授 石川 裕之

研究種目： 基盤研究(C)

研究期間： 2019年度～2022年度

研究分野： 教育社会学関連

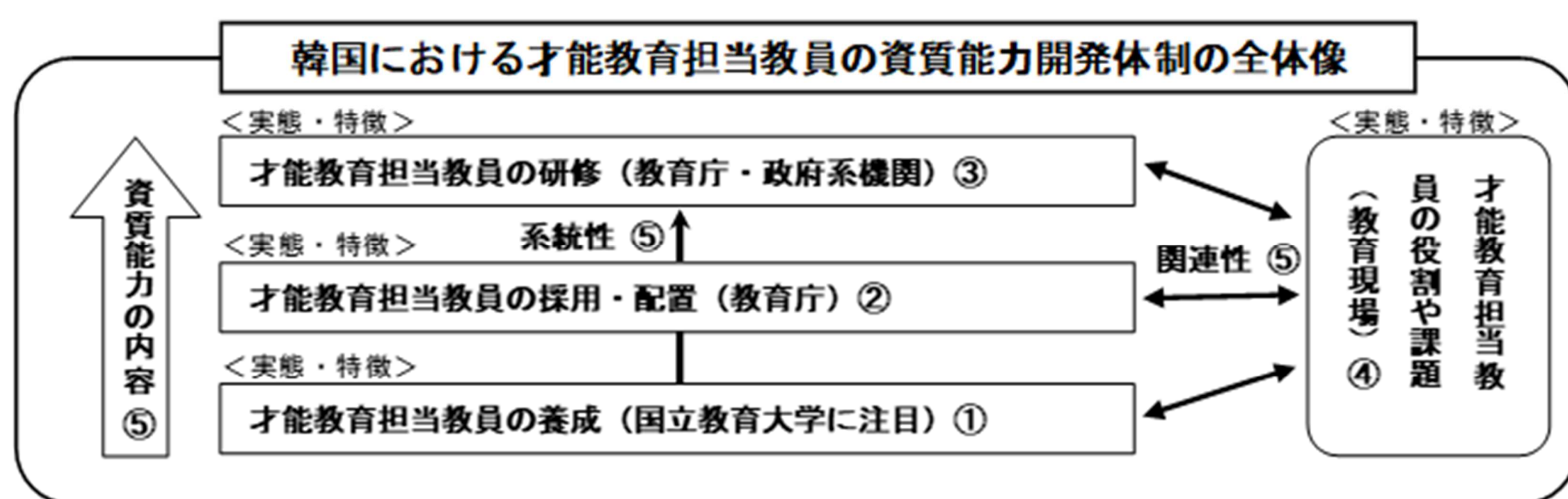


## 主な著書

- 1) 石川裕之(2020)「韓国における非常勤講師の身分保障・待遇改善のための法改正とその『反動』」『IDE 現代の高等教育』2020年7月号、54～59頁
- 2) 石川裕之(2019)「韓国における学位制度」『高等教育研究叢書』第148号、7～20頁
- 3) 石川裕之(2016)「韓国の地方における才能教育の現状と課題－慶尚南道を事例に－」『畿央大学紀要』第13巻第1号、37～43頁
- 4) 石川裕之(2014)「韓国における国家カリキュラムの革新とグローバル化」『教育学研究』第81巻第2号、214～226頁
- 5) 石川裕之(2012)「韓国の才能教育事情」『比較教育学研究』第45号、37～51頁

才能教育とは、「特定の分野・領域で優れた能力を示す子どもを対象として、その能力を最大限に伸長するためにおこなわれる特別な教育的措置」を指します。隣国の韓国では理数系をメインに、国を挙げて才能教育が進められています。韓国では現在約2万5,000名の才能教育担当教員が現場に配置されています。これらの才能教育担当教員は一般学校の一般教員が兼任しているケースが大半で、彼／彼女たちは「養成→採用・配置→研修」というプロセスの中で必要な能力や専門性を向上させています。

本研究は、才能教育担当教員に求められる資質能力の内容、および資質能力向上のためのプロセスを支える体制の全体像を明らかにすることで、一人ひとりの子どもの才能を発見し、伸ばしていくことのできる教員の育成に貢献することを目的としています。



本研究の進め方と着目点



放課後才能教育プログラムの様子  
(中2・理科「光と影」)

京都ノートルダム女子大学  
研究・情報推進課

電話：075(706)3789  
FAX：075(706)3793

電子メール：kenkyu@ml.notredame.ac.jp